

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

東京医科大学消化器外科・小児外科での国内外科研修を終えて

弘前大学消化器外科学講座

鶴田 覚

この度日本臨床外科学会の国内外科研修制度により、東京医科大学消化器外科・小児外科で令和4年3月7日から3月18日までの2週間の期間で施設研修をさせていただきました弘前大学消化器外科学講座の鶴田覚と申します。まず始めに、このような機会を与えていただきました日本臨床外科学会の万代恭嗣会長、国内外科研修委員会の高山忠利委員長をはじめとした委員の皆様、またコロナの影響もあり非常にご多忙の中私の研修を温かく迎え入れてくださった東京医科大学消化器外科・小児外科主任教授土田明彦先生、教授永川裕一先生をはじめとする医局員の皆様に心から感謝申し上げます。

私が研修させていただきました東京医科大学消化器外科・小児外科では膵切除を年間でも非常に多く行っており、さらに腹腔鏡下手術・ロボット支援下手術も精力的に行っている日本の肝胆膵外科を代表する施設です。各種学会総会での永川先生を始めとした肝胆膵グループの先生方の素晴らしい発表を拝見し是非とも東京医科大学で手術およびその教育環境を実際に見て経験したいと考え応募させていただきました。

今回の東京医科大学での研修は、将来の自身の手術や診療を考える上でとても刺激になる非常に貴重な経験となりました。研修中は膵臓手術を中心に肝胆膵外科手術についてご指導いただきました。手術は膵頭十二指腸切除術3例（開腹1例、ロボット支援下2例）、腹腔鏡下膵体尾部切除術2例と多くの膵切除術を見学させていただいたことに加え、腹腔鏡下胆嚢摘出術や胆道拡張症術後の肝門部胆管癌に対する肝切除など、2週間という短い期間の間にも関わらず非常に幅広い肝胆膵外科手術の見学をさせていただきました。実際にスクラブし術野にも入らせていただき、定型化された手術におけるポイントやその視野を作り出す工夫とその重要性を実感することができました。特に膵頭十二指腸切除術においては開腹手術でも鏡視下手術と同様の視野を作り出す徹底した展開へのこだわりを知りとても感銘を受けました。その展開から作り出された術野では開腹手術でも非常に精緻な手術が行われており、開腹手術と鏡視下手術による手術制度における相乗効果を感じることができました。特に上腸間膜動脈周囲の血管処理や郭清において、神経線維組織構造を領域に分けて把握することで定型化された上腸間膜動脈右側の視野展開を教えていただいたことは膵頭部周囲の解剖の理解に繋がりました。また、衝撃を受けたのは非常に丁寧な手術を行っていながら開腹膵頭十二指腸切除術で4時間弱、ロボット支援下膵頭十二指腸切除術で7～8時間という手術時間で終わっていた点でした。展開にこだわり、十分に確立されたチームで行えば消化器外科領域で高難度に位置する膵頭十二指腸切除術もここまでの短時間かつ低侵襲で行うことができ、それは様々な形で患者さんへ還元されることを改めて知ることができました。

そして、手術手技・チームを確立するためにも様々な試みが行われており、今回の研修ではそれらにも参加させていただくことができました。その一つが各日で行われる朝のチームミーティングであり、そこではZoomを用いて院外の医師とも手術ビデオや手術手技に関してディスカッションが繰り返され常に知識や手技のブラッシュアップがされていました。手術手技だけでなく、合併症やその対処に関しても白熱した議論がなされており、それらもとても参考になりました。科内カンファレンスにも参加させていただき、一つ一つの手術症例に関してグループ間でより良い手術治療をしようと積極的な話し合いがなされている姿勢を見て施設や文化は違えど、“消化器外科”としての根幹をなすものは共通して

いることを実感することができました。また国内研修期間中には、退官される土田教授の最終講義を拝見させていただき情熱を持って外科学と向き合ってきた土田教授のこれまでを知ることができとても感銘を受けました。

私自身は卒後8年目という未熟な学年ではありますが、世界トップクラスの技術で行われる膵臓手術やチーム医療、教育環境をこの学年で身をもって経験できたことは非常に良い刺激になりましたし、将来へのモチベーションに繋がりました。特に同世代や近い学年の先生方が多忙な外科医生活の中で、目の前の患者さんのために日々手術手技に関して研鑽を積み知識をつける姿を共有できたことはとても貴重な経験になり心強く感じました。本研修での経験を今後の私の外科診療に活かすことができるよう努めたいと思います。

最後に、本研修に私をご推薦いただきました当科教授袴田健一先生、お忙しい中、不在期間中の業務を負担していただくことになるにも関わらず私を快く研修に送り出してくださいました弘前大学消化器外科学講座の皆様にこの場を借りて深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

